

企画講演アブストラクト

足立真訓 (静岡大学)

タイトル: L^2 理論による多変数関数論速成コース

アブストラクト「多変数関数論」の研究者を見渡すと、周辺分野との共通部分で研究をしている方が多く、現代の多変数関数論は研究分野と呼ぶには茫漠としています。とはいえ、多変数関数論という研究コミュニティで議論が成立しているからには何らかの共通認識があるはずですが、Levi 問題と岡潔によるその解決を研究の源流に見出せる場合が多いように思います。そこでこの講演では、初学者向けに、Levi 問題とそれにまつわる諸概念を手短に紹介し、Hörmander らによる $\bar{\partial}$ 方程式の L^2 理論を用いた Levi 問題の解決を概観します。

タイトル「レビ平坦面に関する諸問題」

アブストラクト Levi 問題を複素多様体内の領域にそのまま一般化して考えると即座に反例が生じます。そこで「Stein 空間を囲むコンパクト CR 多様体の特徴付け」という問題が考えられますが、その reasonable と思われるケースの 1 つが「Stein 空間を囲む Levi 平坦面の特徴付け」という問題で、悪名高い「複素射影平面内の Levi 平坦面の非存在予想」に関連しています。すでに未解決問題を複数述べましたが、この講演では、講演者がこの非存在予想に取り組む中で試してきたアプローチと (現時点での) 限界、未解決問題を紹介します。

奥山裕介 (京都工芸繊維大学) 「複素力学系の Fatou 周期系の分類と一般化プレシュワルツ微分」, 「複素力学系の高階導関数の値分布、単葉関数論、算術」

講演タイトル: タイトル A-1

講演タイトル: タイトル A-2

ここにアブストラクトを記入してください。
内容は複数段落にわたっても構いません。
このようにして、自然な文章で説明できます。

企画講演 B

講演者： 田中 一郎（京都大学）

講演タイトル： タイトル B-1

講演タイトル： タイトル B-2

アブストラクト：

こちらにもアブストラクトを記入してください。
式を含む場合は L^AT_EX 形式で書けます。

例： $f(z) = \int_{\gamma} \frac{1}{z-\zeta} d\zeta$